

令和8年度 愛媛から「体験の風をおこそう」推進事業 国立大学法人愛媛大学・国立大洲青少年交流の家共催事業

伊予の**伝承文化**を学び伝えるリーダー村（子どもむかし生活体験村）（20年目）

共催 国立大学法人 愛媛大学・独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家
後援 愛媛県教育委員会・大洲市教育委員会・西予市教育委員会
期日 令和8年8月22日(土)～8月27日(木) 5泊6日
場所 国立大洲青少年交流の家、如法寺、土居家（西予市）
対象 愛媛大学・松山東雲女子大学・広島国際大学 大学生
参加人数 大学生17名（小学生4～6年生30名）
参加費 6,000円（小学生8,000円）
講師 高橋 平徳氏（愛媛大学准教授） 日野 克博氏（愛媛大学教授）
山崎 哲司氏（元愛媛大学教授） 大本 敬久氏（愛媛大学地域協働推進機構特任准教授）
柴崎 あい氏（愛媛ボランティア学習研究会事務局長） 大洲地区広域消防事務組合 大洲消防署員



1 事業の目的

地域を大切に、地域に根ざして活動するリーダーが求められている中で、愛媛の伝承文化を学び、先人の知恵と自然体験の融合した体験活動をすることで、地域を大切にしようとする心を育むとともに、「子どもむかし生活体験村」を自ら計画し、運営することで、地域に根ざして活動しようとするリーダーを育成する。

2 日程

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00							
1日目			受付	開会行事	アイスブレイク	役割分担	うちわ作り①	昼食	救命講習	うちわ作り②	安全管理①	野外炊飯 (鯛めし・芋炊き)			提灯行列	リフレクション	入浴	就寝準備	就寝				
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00							
2日目	就寝	起床・清掃	つどい	朝食	バス移動		土居家見学	昔遊び	昼食	安全管理②	川遊び	着替え	バス移動		夕食	運営準備①	リフレクション	入浴	就寝準備	就寝			
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00							
3日目	就寝	起床・清掃	つどい	朝食	準備・移動	如法寺見学 (お茶・座禅体験)		移動	昼食	運営準備②			つどい	夕食	運営準備③		リフレクション	入浴	就寝準備	就寝			
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00							
4日目	就寝	起床・清掃	つどい	朝食	最終確認	受付	開村式	アイスブレイク	うちわ作り①	昼食	班のきまり	役割分担	うちわ作り②	荷物移動	野外炊飯 (鯛めし・芋炊き)			提灯行列	リフレクション	小学生ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00							
5日目	就寝	起床・清掃	つどい	朝食	バス移動		土居家見学	昔遊び	昼食	安全管理②	川遊び	着替え	バス移動		夕食	入浴	発表準備	小学生ふりかえり	リフレクション	就寝準備	就寝		
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00							
6日目	就寝	起床・清掃	つどい	朝食	退所点検	移動	如法寺見学 (お茶・座禅体験)		移動	昼食	発表準備	思い出発表	閉村式	リフレクション	閉会行事								

(活動の様子)



3 参加者の声

(1) 事業満足度

- ① 大学生：*満足：100% *やや満足：0% *やや不満：0% *不満：0%
- ② 小学生：*満足：97% *やや満足：3% *やや不満：0% *不満：0%

(2) 自由記述欄（抜粋）

① 大学生

- 学生と子どもと実際にに関わり、企画を通して身に付くスキルを実感できた。
- リフレクションで毎日改善していき、活動をよりよくしていくことが、とても自分の成長につながり、身にもなった。
- 雨に濡れた草を見て「光ってきれい」という子どもたちから自然の大切さを教わった。

② 小学生

- 大学生が小学生のことを考えて企画してくれた。大学生のアシストで楽しく過ごせた。
- 大学生といっぱい話せたし、楽しいことばかりだった。
- みんなで作った芋炊きはおいしく、昔遊びも楽しかった。

4 成果

- リーダー村経験者の学生には早めに声をかけ、目的・目標の確認を行う等、準備段階から協力してもらうことで、多くの経験者学生の参加を得ることができ、1年目「通常」、2年目「上級」、3年目以降「発展」というステップアップ型の活動を充実させるとともに、学生の次年度事業参加への意欲を高めることができた。
- 小学生対象の子どもむかし体験村の目的・目標を共有し、意識させることで、一つ一つのプログラムにつながりが生まれ、最終的に目標を100%達成するとともに、リーダー村の目標も概ね達成することにつながった。

5 課題と改善策

- 安全管理について重点的に指導していたにもかかわらず4日目の野外炊飯で事故が起きてしまった。次年度再発防止に向けて、安全管理①の内容の見直しや、1日目の野外炊飯の在り方についてしっかりと計画を立てる必要がある。
- 共催事業のため、大学と丁寧に計画を進めてきたつもりだったが、それでも当日、調整が必要な部分もあったため、当日を含め事前からしっかりとコミュニケーションを取る必要がある。

(担当：主任企画指導専門職 有木園 和志)